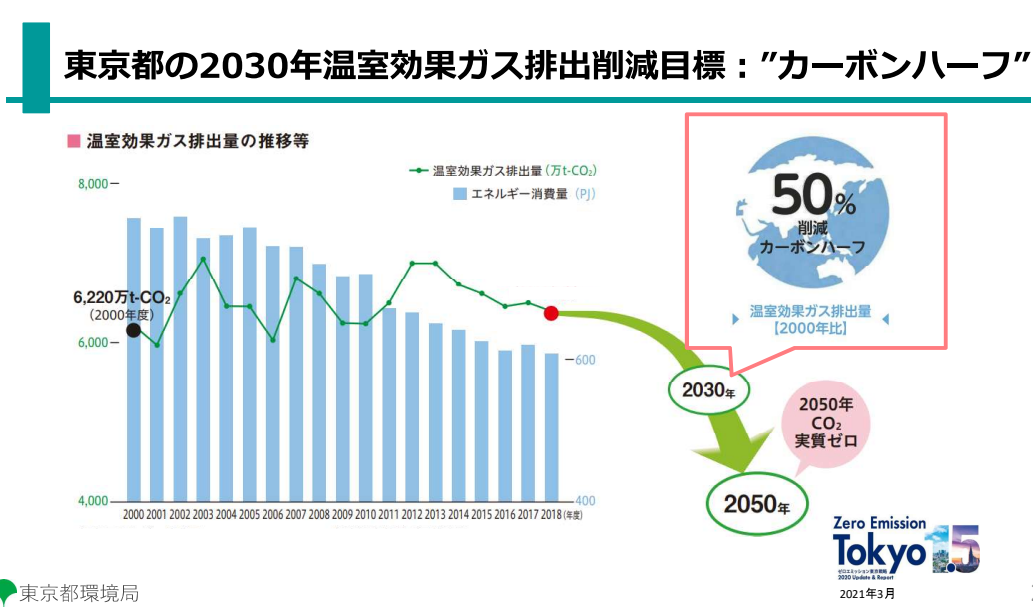


2025.10.28 GX Creation Meeting
～都市と環境の良い関係を考える～ #03

Toward a Zero Emission Tokyo

東京都の気候変動対策 について（概要）

東京都環境局 気候変動対策部
千葉 穂子



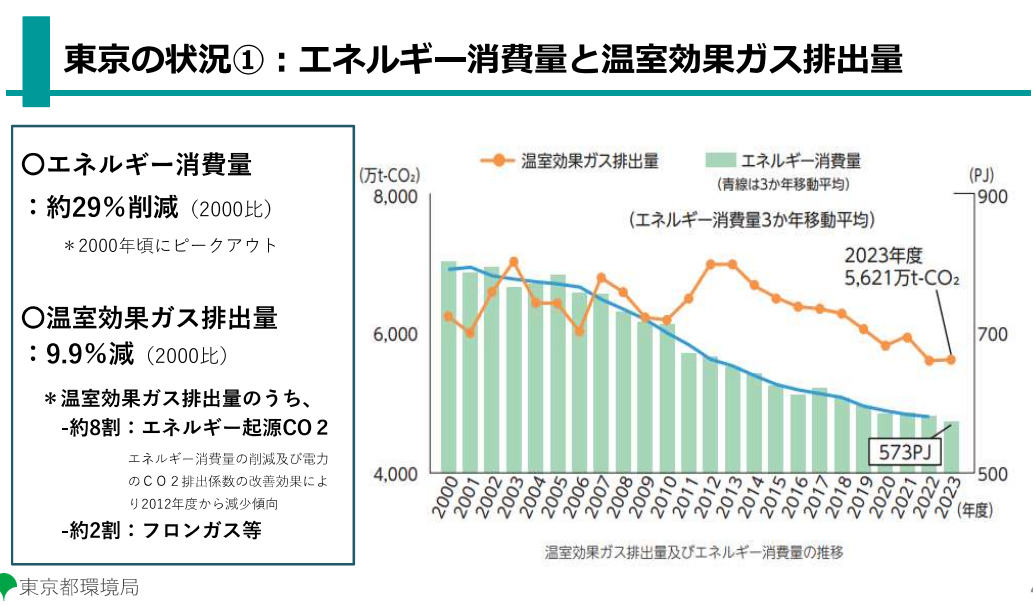
東京が気候変動対策に取り組む意義

- ✓ 「命に関わる暑さ」の頻発化など、気候変動の影響は**既に都民等の身近な生活**に及んでいる
- ✓ 東京は、世界有数の**資源エネルギーの大消費地**
* 都内で使用されるエネルギーや製品の生産、資源採取の都外や財・サービスのほとんどは都外（国内外）で行われている（東京での企業・人々の活動は都外でのCO2排出につながっている）
- ✓ 東京は国際的な**ビジネス拠点**
（立地）資本金10億円以上の企業は全国の約半数、外資系企業の7割以上

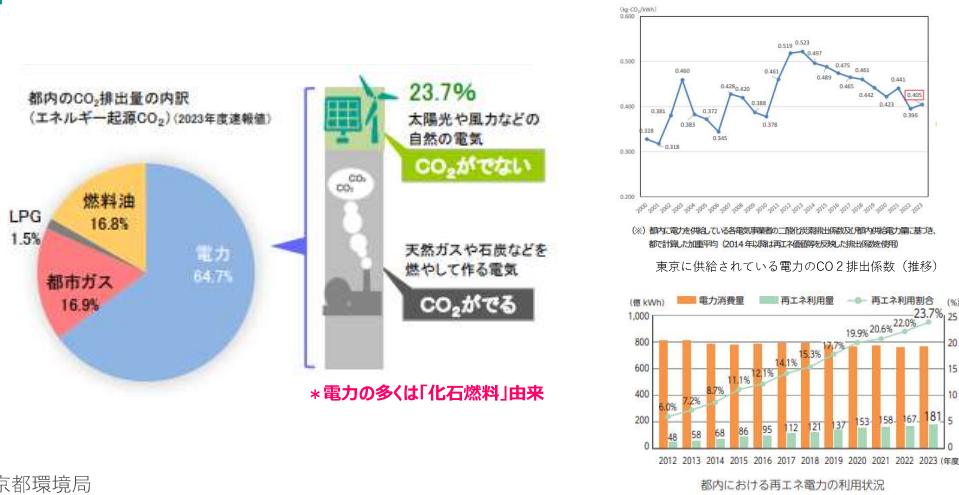
● 「**災害にも強く、健康的で快適な暮らし**」への転換、**脱炭素型の事業活動**ができる「**投資や企業を惹きつけ続ける都市**」の実現

* “都外での削減にも貢献”

● 東京都環境局

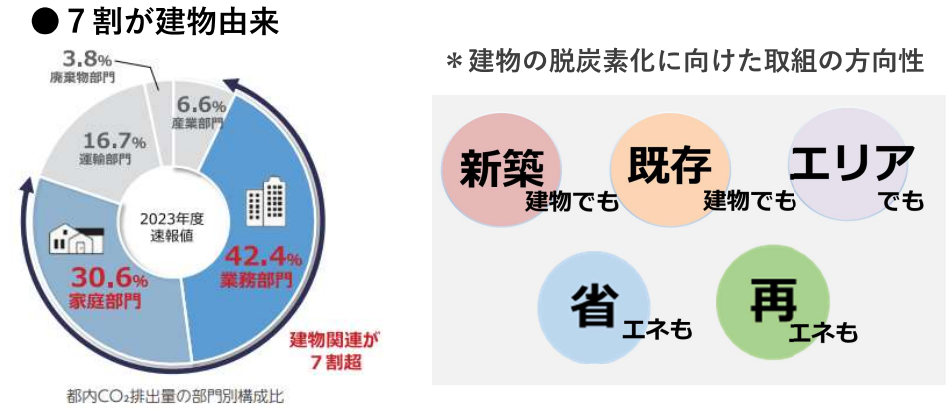


東京の状況②：エネルギー消費に伴うCO2排出の特徴



東京都環境局

東京の状況③：建物由来が7割 (エネルギー起源CO2排出量)



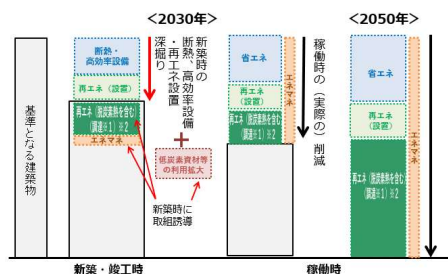
東京都環境局

6

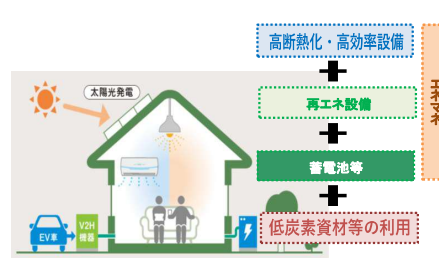
2030年カーボンハーフ、2050年ゼロエミッションを可能とする建物性能の確保に向けて ~2021年検討開始

- 現時点で入手可能な技術を活用し、建物稼働時に「できる限りエネルギー消費が少なく、CO₂排出量を大幅に削減できるような建物性能」を備え、建物運用していくことが不可欠

【2030年に向けた建物への取組イメージ】



【2030年に向けた住宅への取組イメージ】



※1 敷地外での設置及び再生エネ電気の購入

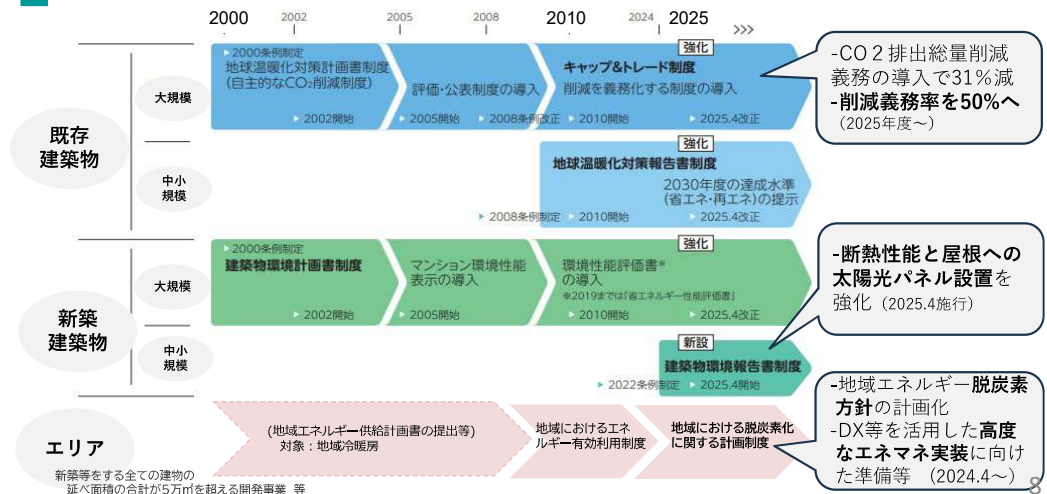
※2 2030年に向けては、太陽光・風力などの脱炭素技術が確立した市場で入手可能な「電力」から

- # エネルギー効率の向上
- # 創エネ
- # 再生エネ電気の調達
- # 高度なエネルギーマネジメント
- # 低炭素資材
- # 蓄電池
- # レジリエンス
- # 健康
- # 快適

東京都環境局

7

建物対策の強化 ~2022年12月東京都環境確保条例改正・順次施行



東京都環境局

都内大規模ビルのCO2排出実績等をマップやグラフでわかりやすく「見える化」

既存（大規模）

○東京都キャップ&トレード制度・ダッシュボード（2025.10～公開開始）

制度対象事業所からの提出データ等をもとに、過去からの推移、都内平均値や他事業所との比較等を含めて、一目でわかるように「見える化」

⇒脱炭素化に積極的な事業所が、投資家や金融機関、取引先等から選ばれ、社会経済的な評価がさらに高まることを目指す



<主な表示項目>

※表示開始が2026年度からとなる項目もあります

- ・床面積当たりのCO₂排出量やエネルギー使用量の推移
- ・都内の平均値や上位レベルとの比較
- ・建物用途や床面積の大きさ等が類似する事業所との比較
- ・再生可能エネルギーの利用割合 など

「地球沸騰化」の時代

●（既に世界の年平均気温は1.1℃上昇）

気温上昇1.5℃未満に抑える”2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ“

→「2030年までの行動・排出量削減」「2035年に向けた取組」を一層加速させていく必要



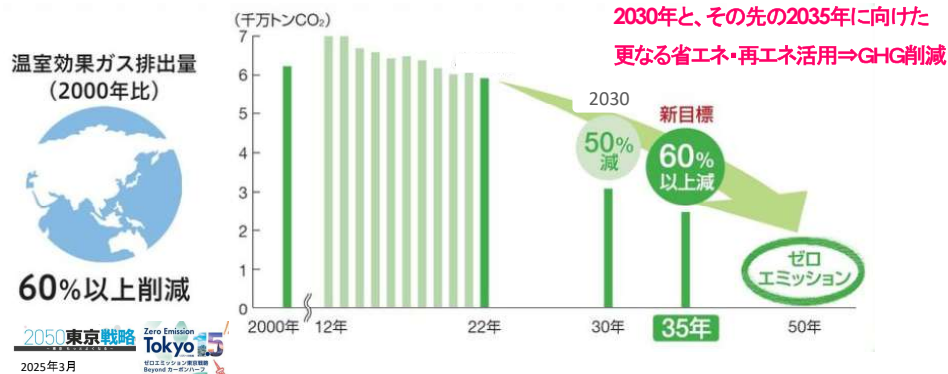
youtube 国連広報センター <https://www.youtube.com/watch?v=dzjwFbq098>



東京都の2035年温室効果ガス削減目標：“2000比60%以上削減”

●カーボンハーフのその先の道筋として

国際的に求められる水準も踏まえ、エネルギー・資源の大消費地として更なる削減に取り組む



統合的設計（Integrative Design）

～既存建物改修の事例創出にむけて～

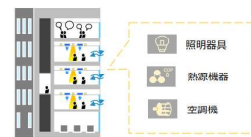
●「統合的設計による改修に向けた省エネポテンシャル調査事業」

- ・対象：都内の延床面積10,000㎡以上の既存非住宅
- ・上限：500万円（予定件数20件・予算1億円）
- ※助成金の申請受付 2025年12月26日まで



一般的な改修

設備機器の経年劣化等による同容量の機器への単純更新に留まり、建物の実態に即した改修が検討されていない状況



統合的設計による改修

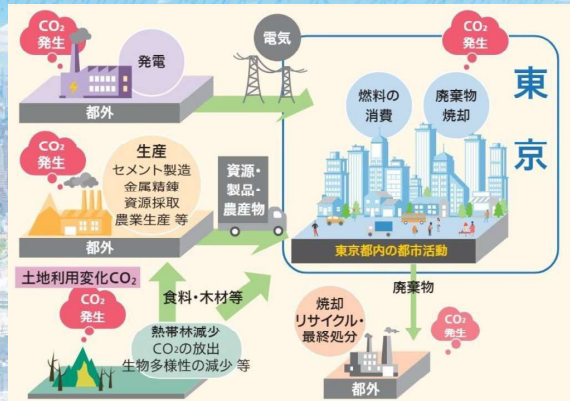
「実績データの分析に基づいた設備容量の最適化」や「設備等の特徴を踏まえたシステム構築」等による省エネ化のほか、最新技術の導入や再エネの導入、ウェルネス・レジリエンスに対する取組等を実施



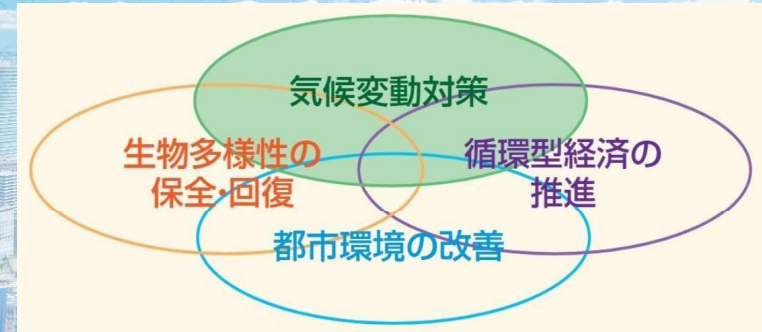
大幅な省エネ化は望めない

設備更新による高効率化や制御システムの追加以上の省エネ化を実現

サプライチェーン全体での取組 ～温室効果ガス・生物多様性～



相互関連・相乗効果



「カケル」の取組で創り上げる Zero Emission Tokyo

- ✓ 防災・見守り
- ✓ 健康・子育て・長寿
- ✓ フレイル予防・介護
- ✓ 文化・芸術・音楽
- ✓ 観光・新たな地域づくり
- ✓ 人々の心のゆたかさ
- ✓ 都市としてのうるおい

× 脱炭素